広報

しゃこたん

令和7年
8月号
No.764

～ 待ち遠しかった「縁日」～

一発必中！

＝美國神社例大祭・美國神社 300 年祭（７月４～６日・美国町）＝

主な内容

- 脱炭素社会の実現に向けた事業化調査開始
- 令和７年　例大祭
- 第75回社会を明るくする運動
- 令和７年第２回町議会定例会

積丹半島と神威岬

北海道遺産

Shakotan Town Information 2025 August

～積丹町再生可能エネルギービジョン策定～
＝令和７年度＝
脱炭素社会の実現に向けた事業化調査開始

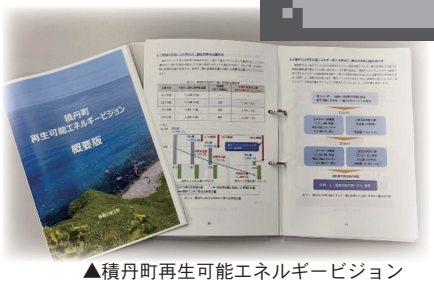
昨年度、脱炭素社会の実現と地域振興・地域課題の解決に役立てるため、「積丹町再生可能エネルギービジョン」を策定しました。
令和７年度から再生可能エネルギー導入の事業化に向けた可能性を探る調査・検討を行います。

町再生可能エネルギー導入施策目標設定

町では、全国の地方自治体に求められている国の２０５０年（令和32年）脱炭素社会の実現に向けたゼロカーボン北海道の推進に対応するため、平成18年度策定の「積丹町地域新エネルギービジョン」の改定に向けて「町再生可能エネルギー導入推進検討委員会」（石井一英委員長・北海道大学大学院工学研究院環境創生工学部門教授）を設置し検討を進め、今年３月に新たな「再生可能エネルギー導入施策の実施目標」を定めた『**積丹町再生可能エネルギービジョン**』を策定しました。

新ビジョンの重点プロジェクト

新ビジョンでは、町のエネルギー消費量及び二酸化炭素排出量の削減目標を設定したほか、脱炭素社会の実現と地域振興・地域課題の解決を目指すため、10項目の「**再生可能エネルギーの地産地消を推進する重点プロジェクト**」を掲げています。



▲積丹町再生可能エネルギービジョン

令和７年度可能性調査事業計画

令和７年度は、新ビジョン10項目の重点プロジェクトの中で、特に優先的に進める５項目を具体的に事業化・推進するための事前準備の調査・検討を行います。

町では、積丹の豊かな自然と共生しながら２０５０年脱炭素社会の実現に向けたプロジェクトによる環境にやさしいまちづくりに取り組みます。

≪ 新再生可能エネルギービジョン重点プロジェクト ≫

	名　称	概　要
1	災害対応拠点施設及び学校等公共施設への導入	災害時の避難所等の再エネ導入の検討
2	水産業の取組に関する活用	再エネを活用したウニ蓄養システムの検討
3	商工観光業の取組に関する活用	観光拠点施設等への再エネ導入の検討
4	温泉熱を利用した活用	再エネ設備等導入を検討し、町の特性を生かした「再エネ推進ゾーン」の形成を検討
5	小水力を利用した活用	非常用電源としての活用検討
6	風力を利用した活用	環境や人への影響が小さい小型風力発電の導入検討
7	脱炭素コミュニティへの促進	指定避難所等の公共施設群の脱炭素コミュニティの構築を検討
8	雪冷熱の活用	地域の特性を生かした雪冷熱を活用した事業の検討
9	水素エネルギーの活用	将来的な実用化を見据えた水素エネルギーの活用検討
10	町民への省エネルギー・脱炭素普及・啓発	省エネルギーや脱炭素についての普及・啓発の促進

≪ 令和７年度調査事業 ≫

No	可能性調査内容
1	**役場庁舎への再エネ導入可能性調査** 脱炭素型庁舎改修構想（課題整理）の検討する場合の導入可能な再エネの種類・導入量等の可能性を検討するための事前予備調査
2	**公共施設への太陽光発電設備等導入可能性調査** 太陽光発電等需給シミュレーションの可能性を検討するための事前予備調査
3	**再エネ推進ゾーンへの実現可能性調査** 岬の湯しゃこたん周辺に「再エネ推進ゾーン」の実現可能性の検討に役立てるため、既存岬の湯しゃこたんの泉源回復の可能性の実証調査
4	**ウニ蓄養施設における再エネ導入可能性調査** 温暖化対策として、再エネ電力供給を前提としたウニ蓄養養殖システム等の可能性を検討するための事前予備調査
5	**雪冷熱利用可能性調査** 特別豪雪地帯の課題を活かし、雪冷熱簡易利用システム等の可能性を検討するための事前予備調査

（令和６年度）
積丹町再生可能エネルギービジョン策定業務
【財源内訳】

国補助金	１，７７４万円
計	１，７７４万円

（令和７年度）
再エネ設備等導入事業可能性調査
【財源内訳】

国補助金	５，６９４万円
ふるさと振興基金（ふるさと納税寄附金）	３００万円
計	５，９９４万円

▲国補助金：エネルギー構造高度化・転換理解促進事業補助金（補助率10分の10）

令和七年 例大祭

今年も７月１日の入舸稲荷神社・積丹神社（日司町）・野塚稲荷神社を皮切りに町内各地区で郷土の伝統「例大祭」が開催され、やっこ行列や神輿、山車などそれぞれ特色あるお祭りを地域住民やこの日のために帰省した方々が一丸となって盛り上げました。

強い初夏の陽射しが降り注ぐ中、威勢の良い掛け声や歓声が飛び交った祭典の一部を写真で紹介します。

※日司・野塚・幌武意地区は神輿渡御がありませんでした。

美國

入舸

神威

第７５回「社会を明るくする運動」

▲岸本好且余市地区保護司会長より十河副町長へ内閣総理大臣メッセージが伝達

７月10日、第75回「社会を明るくする運動」積丹町住民集会が催され、７月の強調月間に合わせ、町内の小中学生から応募のあった81点の標語の中から６点の入選作を決定し、同日に、町総合文化センターで十河副町長より入賞者への表彰が行われました。

積丹町標語入選作品

◆標語の部◆

〈小学生の部〉

金賞　笑顔には　心をいやす　力ある　　余別小６年　野宮（のみや）　麗穂（りほ）　さん

銀賞　やさしさは　心をつなげる　第一歩　　美国小６年　石岡（いしおか）　幸汰（こうた）　さん

銅賞　人生は　一度しかない　たいせつに　　余別小４年　柏崎（かしわざき）　千紗都（ちさと）　さん

〈中学生の部〉

金賞　やさしさで　色とりどりの えがお咲く　　美国中１年　増山（ますやま）　結珠（ゆず）　さん

銀賞　認めよう　相手と自分の　個性と性格　　美国中２年　野宮（のみや）　湊輔（そうすけ）　さん

銅賞　会話をし　ふと気がついた　幸せと　　美国中３年　村木（むらき）　葵（あおい）　さん

令和７年 第２回町議会定例会

議会ニュース NEWS

令和７年第２回町議会定例会が６月24日に招集され、報告１件、議案10件、意見案１件が審議され、同月25日に閉会しました。

そのあらましについてお知らせします。

行政報告（要約）

はじめに

■不確実性が高まる国際情勢の下で、米国の関税措置への対応や当面の物価高対応をはじめとする国の経済財政運営に万全を期することを基本とする「政府の経済財政運営と改革の基本方針（骨太の方針）２０２５」が、６月13日閣議決定されました。

■石破首相は、「民の力を最大限生かしつつ、自ら考え行動する地方を応援する。また、関係人口を増やして地域の活力を高めることに注力する。」ため、「ふるさと住民登録制度の創設」や「二地域居住の推進」など、新たな令和の日本列島改造（「地方創生２・０」の推進）に国をあげて着実に取り組むとしています。

また、「半島地域の防災・国土強靭化」や「学校給食無償化」、「０～２歳幼児・保育支援の充実」など地方の安心安全な暮らしの充実確保のための新たな課題解決を目指すとしています。

■私たちは、こうした政府の新たな地方政策の具体化に伴う国の令和８年度予算編成における議論の行方や、住民に身近で多様な数多くの課題を抱える地方自治体の今後の行財政運営への影響と、その動向に大きな関心を寄せていかなければなりません。

行政報告

令和６年度各会計決算の概況
財政の硬直化続く

令和６年度の各会計決算については、出納閉鎖を経て会計管理者のもとで、監査委員の審査に付するための整理作業中ですが、その概況について報告します。

一般会計は、特別交付税の３月交付分などにより歳入額が確定するとともに、第１回定例会において補正予算措置をした各基金への積立てを行いました。

その結果、**一般会計**は、歳入総額34億５，４１４万２千円、歳出総額33億５，７３１万７千円、翌年度に繰り越すべき財源１３８万８千円、**差引収支額９，５４３万７千円**の見込みです。

また、**３特別会計と２公営企業会計**は、**一般会計から総額１億８，２４９万９千円**（前年度１億６，８８５万８千円）の**繰入れ**を行いました。

その結果、歳入（収入）総額６億８１３万４千円、歳出（支出）総額６億６，８４４万４千円の見込みです。

なお、出納閉鎖期での**各種基金残高**は、年度中積立額２億２８４万９千円、同取崩し額１億７，７６９万７千円、差引総基金残高は、**19億４，４５７万８千円**（前年度19億１，９４２万６千円）です。

増額の主なものは、国民健康保険財政調整基金１，４８８万９千円、ふるさと振興基金７３１万７千円、地域情報通信基盤施設整備基金約４６２万７千円、町有林造成基金４６２万円、森林環境譲与税基金４１８万７千円、条例定額積立２基金２２５万２千円です。

一般会計で、９，５４３万円余の翌年度繰越金が生じていますが、その主な要因は、歳入では、①普通交付税の再算定による増、②特別交付税の地域おこし協力隊及び地域公共交通維持対策経費等による増、歳出では、③公債費及び除排雪経費等の減少によるものです。

本町の**硬直した財政構造に大きな変化はない**一方で、老朽化が進行している道路・上下水道施設、廃棄物処理施設・学校教育施設、地区会館等公共施設改修費、維持管理費、小河川防災減災対策、除排雪対策、消防・

し尿・ゴミ広域処理施設改修等負担金、医療・介護・子ども子育て支援等社会保障関係費の自然増のほか、建設工事等価格の増高、職員人件費や物価高騰による行政経費の増、更には、国の自治体情報システム標準化・共通化移行事業地方負担の大幅増など、歳出経費の増高が避けられない情勢が続くことが予想され、自主財源の乏しい本町の今後の財政運営は、引き続き厳しく予断を許さない状況が続くものと考えています。

令和６年度　各会計決算概況

（単位：千円）

区分 / 会計別			A 歳入総額	A うち一般会計繰入金	B 歳出総額	B うち繰出金	C 歳入歳出差引（A）－（B）	D 翌年度に繰り越すべき財源	E 実質収支（C）－（D）
一般会計			3,454,142	－	3,357,317	182,499	96,825	1,388	95,437
特別会計	国民健康保険事業	事業勘定	126,563	31,168	125,013	－	1,550	0	1,550
		直進勘定	89,636	42,748	89,636	－	0	0	0
	介護福祉サービス事業		48,474	30,840	48,474	－	0	0	0
	後期高齢者医療		45,510	15,284	45,510	－	0	0	0
特別会計　計			310,183	120,040	308,633	－	1,550	0	1,550
公営企業会計	簡易水道事業		180,380	22,458	225,515	－	▲45,135	－	－
	集落排水事業		117,570	40,000	134,296	－	▲16,726	－	－
公営企業会計　計			297,950	62,458	359,811	－	▲61,861	－	－
合計			4,062,275	－	4,025,761	－	36,514	－	－

（注）計数は四捨五入しているため、合計が合致しない場合がある。

岬の湯しゃこたん「泉源の異状」への対応状況

２月招集の第２回臨時会の行政報告後の動向について報告します。

①（株）ＳＨＡＫＯＴＡＮＧＯでは、光熱費の増高等、経営への影響を考慮して、昨年12月１日から冬期間の営業を休止していましたが、４月19日から営業を再開しています。

井水（冷泉約11度）を加温しての営業のため、燃料費の著しい増高に伴う露天風呂の一部閉鎖などの節減対策とともに、入浴料金の引き上げや誘客増対策等に努めていますが、依然として厳しい経営状況が続いているとの報告を受けています。

②町への「温泉源利用再生支援要請」に対する町の検討状況につきましては、昨年８月以来の新たな本町の地域課題としての対応経過と、平成29年から５年に及ぶ熟慮と議論を重ねた民営化への貴重な道のりの経緯を踏まえて検討を続けてきました。

その際の重要な両立克服す

べき課題は、次の2点です。

1．温泉施設（岬の湯しゃこたん）は、本町の限られた観光資源の一つとして絶やすことができないこと。

2．町の財政負担は、限りなく最小化すべきこと。

そうした認識に立って、その対策の具現化に努めてまいりましたが、**国のエネルギー構造高度化・転換理解促進事業補助金の一部を活用**して、既存の岬の湯しゃこたんの温泉源を調査対象として、新たな積丹町再生可能エネルギービジョンの目標に沿った**同温泉熱の持続的な活用の可能性についての実証調査**を、**町が調査実施主体として実施**することとしました。

この調査の実施により、泉源利用回復への期待と併せて掘削から27年を経た同温泉源の**「湧出量」**、**「泉温」**、**「泉質」**等の今後の持続的な活用の可能性とその活用要件を改めて把握できれば、今後の岬の湯しゃこたんの経営安定化と施設老朽化対策はもとより、「温泉資源」を引き続き町の重要観光資源の一つとして位置付け、本町の地域振興への貢献や官民連携した将来展望の検討にも寄与できるのではないかと期待しています。

日本海沿岸地震・津波被害想定の公表 町内地区説明会予定

6月3日北海道は、冬期深夜に最大級の地震と津波が発生した場合、道内日本海沿岸の33市町村で最大約7，500人が死亡するなどの被害想定を公表し、本町に最も影響を与える断層モデルでは、建物全壊290棟、死亡者数360人等の被害が発生するとしています。

同被害想定は、**平成29年2月に道が公表した「日本海沿岸の津波浸水想定」**で想定される最大クラスの津波などで生じる具体的な被害を算定したもので、現行の**「津波災害警戒区域」が修正されたものではないため、避難場所等に変更はありません。**

しかし、前回の公表から8年が経過しており、初めての「被害想定の公表」で町民の不安も高いため、今回公表の内容に関する道の市町村向け住民啓発資料等の詳細が確認できしだい、町内地区説明会を開催したいと考えています。

また、能登半島地震津波災害を教訓とした急がれる今後の地域防災拠点等の整備に係る自治体財政負担の軽減と安定財源対策及び、国や道の道路、漁港等の広範な分野に及ぶ防災・減災対策の拡充が極めて急務でありますので、関係市町村と連携して、関係機関への要望活動に鋭意努めています。

新たな国の施策事業の導入 半島振興補助金の活用

第1回定例会の「行政執行方針」のその後の動向について報告します。

半島振興法は令和7年3月26日、議員立法により第4次の改正法が成立、10年間の延長が決定し、4月1日施行されました。

改正法では、法目的に**「半島防災」と「地方創生」が追加**され、その基本理念として「地方創生」、「魅力の増進」、「半島防災・国土強靭化」の3つの観点から、様々な分野における半島地域社会の振興・発展に資する関係8府省の施策の充実配慮規定が盛り込まれるなど、昭和60年法制定以来の拡充改正内容となりました。

現在、国（国土交通省）において、改正法に基づく**基本方針の策定**が進められており、**全国**

23半島地域１９４市町村（道内２半島地域25市町村（渡島17・積丹８）の関係22道府県では、国の基本方針に基づく「**半島振興計画**」の策定が進められています。

この道府県が策定する計画に反映させる**半島地域の課題の調査・分析・振興事業等の把握調査を支援**するため、同省では全国の半島地域市町村を対象に「半島振興広域連携促進事業補助金制度」を拡充し、その**調査事業補助金の活用公募**が行われています。

本町では、地域協議会を事業主体とする農林水産省（水産庁）の海業振興対策事業との「政策間連携」・「官民連携」、北海道との「広域連携」事業として、半島地域振興対策の事業化に向けた地域資源活用可能性調査と、実証試験等を内容とする２つの計画事業プロジェクトを応募し、過日国から計画**事業補助金総額２，２００万円（10／10補助）の採択内示**を受けました。

地方創生臨時交付金 ２５９万円追加内示・２事業に充当

国（政府）は、５月27日、令和７年度一般会計予備費の使途と額を閣議決定し、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金１，０００億円の増額が措置されました。

同日、国から交付限度額通知があり、本町へは、２５９万円の追加内示があったところです。

本町では、国の早期予算化の求め等を考慮し、今年度当初予算で計上した、**低所得世帯支援給付金事業（３万円／世帯）の「町独自拡充事業」**と、事業執行期間に制約が見込まれる今年度予定の**「ふれあい交流事業」**に充当することとしました。

また、前年度実施した国の定額減税補足給付金で、その支給額が不足した者を対象とする「不足額給付」の対応について、行政システム改修委託業務事業者から受託は困難な旨の連絡を受けたため、現在、給付対象者の確認と給付金積算作業を担当課職員で行っているところです。

こうした実状を踏まえて、迅速な給付金交付を確保するため、同給付金対象者とその所要額が判明しだい、専決処分により早期に関連補正予算措置を講ずるなど、適期円滑な給付事務の執行に努めます。

後志総合開発期成会要望活動

後志総合開発期成会（会長：髙橋神恵内村長、構成：後志管内１市19町村）では、５月７日開催の定期総会での決定に基づき同月26日及び30日に北海道開発局と北海道など道内関係機関への要望活動が行われました。

また、６月６日には、中央府省庁及び衆参国会議員会館へ出向き、国の令和８年度予算編成に向けた後志管内20市町村の農林水産業や観光産業の振興、交通ネットワークの形成、国土基盤整備、生活環境の改善及び保健・福祉・教育の振興など７分野65項目１５７事業の要望活動を行ってきました。

所属の水産部会としての提言要望事項は、直轄・補助漁港及び漁場整備の推進、漁村地域の生活環境の整備と防災減災対策の推進、密漁防止対策、トド等海獣類の被害防止対策及び水難救難所員の身分保障制度の確立、海業振興の推進など主要８項目26事業でありますが、引き続き部会構成町村並びに漁協、漁協系統機関等と連携して、日本海地域の現状の課題と窮状を訴え、提言要望事項の実現に努力してまいります。

北海道町村会中央要請運動

６月６日、北海道町村会（会長：棚野白糠町長、構成：道内１４４町村）が北海道市長会及び北海道と合同で実施した「エゾシカ・ヒグマ対策に係る３団体要請活動」に道町村会理事（農林水産委員）として参加し、農林水産省農村振興局、林野庁及び環境省へ鳥獣保護管理法改正に関する要請を行ったほか、６月12日には、道町村会役員による中央府省庁及び道内選出衆参国会議員に対する、国の令和８年度予算に向けたデジタル化施策の推進、地域医療の充実、脱炭素社会の実現、農水産業振興対策の推進など10分野32項目の要請運動を行ってきました。

議会ニュース

北海道新幹線建設促進等運動

5月26日、小樽市で「北海道新幹線建設促進後志・小樽期成会」総会が開催され、新函館北斗・札幌間の開業延期に伴う影響の最小化支援、東京と札幌を結ぶ新幹線の最大限の高速化の実現などの要望活動を引き続き展開していくことが確認されました。

また、同日、**「北海道横断自動車道黒松内・小樽間建設促進期成会」**総会が開催され、小樽ジャンクションのフルジャンクションでの早期完成、後志自動車道（倶知安余市道路「倶知安～共和間」「共和～余市間」）の早期開通などを併せて要望していくことが確認されました。

企画課関係

「10月31日信金美国出張所閉店」、町に申し入れ

5月29日、北海道信用金庫・佃常務理事、原田常勤理事（経営推進部長）と古瀬古平支店長が来庁し、同金庫美国出張所を**令和7年10月31日をもって現在地での営業を終了し、11月4日から古平支店内へ移転**する予定である旨の申し入れがありました。

人口減少や職員不足、地域金融機関共通の厳しい経営環境の改善を図るため、「複数市町村の拠点の集約を進めざるを得ない。」との説明でありましたが、町としましては、「町内取引事業者や関係団体への丁寧な説明と理解を求めること」及び「ATM機器の町内設置」について、同金庫本部での検討を要請しました。

鈴木知事が積丹町訪問

鈴木北海道知事が、**地方創生の取組状況を視察**し、地域づくり実践者と懇談する「なおみちカフェ」が、6月10日、**積丹ジン蒸留所**及び**岬の湯しゃこたん**で行われました。

当日は、鈴木知事のほか、瀧川後志総合振興局長、津久井道地域づくり担当局長が同行して、積丹ジン蒸留所と岬の湯しゃこたんを視察し、本町の平成27年からの官民連携による地方創生の取組状況の特色と課題の実状について、町内の民間4事業者と町長から説明を受け、知事からは積丹半島の今後の地方創生2・0に向けた取り組みへの期待と激励がありました。

▲なおみちカフェ・積丹ジン蒸留所視察する鈴木知事（写真右から２人目）

地域おこし協力隊の状況

4月1日、**7事業所10名**の地域おこし協力隊が配置され、活動中です。

今年度、新たに地域おこし協力隊の受入事業所の募集に対し、4事業所から応募があり、現在、受入事業所の選定調整中です。

「インターン協力隊」は、9事業所から応募があり、9事業所を同インターン受入事業所として決定し、現在各事業所においてインターン協力隊員の人選作業を行っています。

ふるさと納税の状況

令和6年度6，895万円

平成28年7月より開始した本町のふるさと納税は、5月末現在、返礼品取扱登録事業者は、33事業者、348品目で、令和6年度ふるさと納税寄附金は、4，012件、6，895万7，500円、**9年間の累計総額は、5億2，812万6，800円**です。

この間の寄附金総額から諸経費を控除した「ふるさと振興基金」への積立（元金）総額は、

約2億2，295万円、令和6年度末の同基金残高は、1億6，963万円です。

また、この間の**全国の寄附者からの寄附金使途希望の内訳**は、第5次町総合計画の5つのまちづくり目標に沿って、

① 豊かな郷土で自ら学び、地域文化を育むまちづくり **31・6％**

② 地域ぐるみでつくる健康、支えあう福祉のまちづくり **13・4％**

③ 自然と共生し、安全で快適な暮らしを実現するまちづくり **17・7％**

④ 産業が連携し、豊かな地域資源をまもり活かすまちづくり **23・3％**

⑤ みんなが主役、未来へつなぐ協働のまちづくり **9・0％**

⑥ 指定なし **5・0％**

という状況です。

企業版ふるさと納税の状況

令和3年度から募集を開始した、国の「まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する税制特例制度（『**企業版ふるさと納税**』）」を活用した寄附は、**令和6年度は8企業から1，447万円、4年間で延べ18企業から6，912万円**を受納しました。

今後も、第2期積丹町総合戦略に掲げる官民・公民連携による協働プロジェクト等の取組に呼応する積丹応援企業等からの寄附を募り、本町の地方創生事業等の継続的な推進に役立ててまいります。

積丹町地域活性化協議会の活動状況

同協議会（代表：馬場龍彦商工会長、構成：産業経済等8団体及び町）の総会が、5月23日に開催されました。

地方の活性化対策の実践における「官民連携」プロジェクト事業の創出と推進が重要性を増している今日、同協議会の役割と地域内の異業種間連携の強化が大きく期待され、本町の社会経済的な対外的信頼感の向上に貢献しています。

今年度は、**①海業振興支援事業**（美国漁港地区「水産加工・物販、食提供・体験機能を備えた海業交流拠点形成」：国（水産庁）補助事業）、**②官民連携推進事業**（環境と社会の未来を創る**積丹型エコツーリズム推進事業**：エア・ウォーター北海道㈱寄附事業）、**③神威岬灯台PR推進事業**（町単独事業）等が計画されています。

引き続き同協議会の育成支援に努めてまいります。

香美市との姉妹都市交流

小松議長ほか26名来町

北海道札幌の初夏を彩る一大イベントYOSAKOIソーラン祭りは、第34回を迎え、今年も姉妹都市高知県香美市から小松議長を団長として27人が来町され、積丹町の18人との合同チームを編成し、6月7日と8日の2日間出場してきました。

ソーラン節と鳴子のリズムによる演舞を披露し、両市町の交流と、応援に駆けつけてくださった積丹町ファンとの交流を深めました。

税務課関係

令和6年度町税及び税外収入金の概況

一般会計（町民税ほか4税）は、現年度分、滞納繰越分を合わせ、調定額1億8，260万4千円（前年度1億8，972万4千円）、**収入済額1億6，762万7千円**（前年度1億7，615万9千円）**収納率91・80％**（前年度92・85％）の決算見込みです。

法人町民税、軽自動車税（種別割）は増加したものの、個人町民税（定額減税実施）、軽自動車税（環境性能割）、たばこ税ほか2税の減少に伴い、現年度調定額は前年度比504万8千円減少しました。現年度分、滞納繰越分を合わせた収納率は、前年度を1・05ポイント下回り、前年度比853万2千円減収となりました。

なお、個人町民税の定額減税額には、地方特例交付金576万円が国から減収補てんされています。

国民健康保険税については、現年度分、滞納繰越分を合わせ、調定額9，104万円（前年度

9，１９５万６千円）**収入済額7，０９０万７千円**（前年度7，３０９万４千円）**収納率77・89％**（前年度79・49％）の決算見込みです。

課税世帯数及び被保険者数はともに減少したものの、所得割の増加に伴い、現年度調定額は前年度比１１７万円６千円増加しました。現年度分、滞納繰越分を合わせた収納率は、前年度を1・6ポイント下回り、前年度比２１８万７千円減収となりました。

税外収入（児童福祉費負担金ほか14科目）は、現年度分、滞納繰越分を合わせ、調定額１億９７１万円（前年度１億１，３９５万３千円）**収入済額８，４８８万４千円**（前年度８，５５３万９千円）**収納率77・37％**（前年度75・06％）の決算見込みです。

公営企業会計営業収益（簡易水道使用料・下水道使用料）は、現年度分、滞納繰越分を合わせ、調定額７，６１７万２千円（前年度特別会計３月末８，０６０万円）**収入済額　５，８４０万３千円**（前年度特別会計３月末６，１８５万９千円）**収納率76・67％**（前年度特別会計３月末76・75％）の決算見込みです。

令和６年度の国民健康保険税を含む**町税全体の現年度分、滞納繰越分の収納率見込み**は、87・17％（前年度88・49％）で、減少に転じました。

徴収率の向上を図るため、引き続き後志広域連合による強制徴収や納付困難者への納付相談による計画的な納付の督励など、税外徴収金を含む滞納の防止、縮減に努めてまいります。

住民福祉課関係

訪問介護事業等の廃止対策

18人の代替サービス移行完了

積丹町社会福祉協議会（介護保険事業所）が運営する本事業が３月31日で廃止されたことに伴い、それまで利用されている利用者への介護福祉サービスの継続を維持し、対応可能な代替サービス対策への移行を急ぐべく、同社協と連携して対策の検討を重ねてきました。

その結果、３月31日現在の要対象者は18人で、うち、町外の介護保険事業所へ１人と通所介護事業２人、町条例単独サービス事業へ移行15人全員の代替サービス等への継続移行が確保されました。

帯状疱疹ワクチン予防接種助成事業の実施状況

今年度から町費一部助成により町民の発症予防対策を実施していますが、５月末現在の予防接種券発行状況は、定期接種対象者（65歳、70歳以降５歳年齢毎）は、８人、定期接種対象者以外の任意接種対象者（50歳以上）は、22人という状況です。

不妊治療費等助成事業の状況

今年度から町費の上置助成により、不妊治療を受けている夫婦の経済的負担を軽減し、少子化対策の充実を図るため、周知広報に努めています。

9月19日 令和7年度積丹町敬老会

５月27日、令和７年度積丹町敬老会打合せ会議が開催され、今年度も自治会等連合会、民生委員協議会、老人クラブ連合会、各地区婦人会で構成する敬老会実行委員会（実行委員長：鎌田淳史自治会等連合会長）を組織し、９月19日（金）に総合文化センター交流大ホールで、敬老者の長寿を祝い、町の振興発展に尽くされたご労苦に敬意を表する催しを行います。

今年度の対象者（75歳以上）は、５月末現在、５１９人で、出席者全員に祝品を、88歳の米寿該当の16人には、記念品を贈ることとし、準備を取り進めています。

国保診療所関係

令和6年度運営状況

外来患者数は、延べ４，２６２人（前年度比１，０１０人、19・2％減）で、１日平均19人（同３人減）です。

運営収支決算見込みは、歳入歳出ともに、８，９６３万６千円（前年度比１，３５０万１千円減）で、一般会計からの繰入金は、４，２７４万８千円（前年度比１，４９４万７千円増）の見込みです。

令和7年度外来患者数等の状況

5月末現在の外来患者数の状況は、延べ659人（1日平均17人、診療日数39日）で、前年同期と比較し68人増、1日平均5人減（前年度591人、1日平均22人、診療日数27日）という状況です。

保育所関係

保育所の運営状況

6月1日現在の入所児童数は、びくに保育所が20人（前年度比3人減）、うち新入所児童数は7人です。みなと保育所は4人（前年度比2人増）、うち新入所児童数は2人です。

子育て支援センターの運営状況

5月末現在の利用者数は、延べ65人（前年度比52人減）、1日平均1・6人の利用です。

減少した要因は、令和6年度利用世帯の半数がびくに保育所への入所と令和6年度の出生数の減少によるものです。

乳児等通園支援事業の課題検討

令和7年4月1日施行の児童福祉法及び令和8年4月1日施行の子ども・子育て支援法の改正により、人口減少下の子育て支援施策を強化するため、「**こども誰でも通園制度**」が創設されました。

この制度は、0歳6ケ月以上3歳未満の児童を月の一定時間までの利用可能枠設定の中で、保護者の就労要件を問わず保育所等の利用ができる制度です。

本町においては、職員の受け入れ体制や既設一時預かり事業との関連や保育料無償化への対応と併せて、制度導入に際しての課題整理とその方向性について検討を進めています。

商工観光課関係

再エネ設備等導入可能性調査事業の実施

国補助金5，694万円内定

政府の2050年脱炭素社会の実現に向けた今日的政策課題として、全国の地方公共団体に、その取組が求められている「再生可能エネルギー導入施策の実施目標」を掲げる「**積丹町再生可能エネルギービジョン**」を、昨年度国費補助制度を活用して新たに策定しました。

今年度は、脱炭素社会の実現と地域課題解決の両立的な具現化を目指すため、新ビジョンに掲げた「積丹町再生可能エネルギーの地産地消を推進する重点プロジェクト」10項目の事業化を目指すための可能性調査の検討に着手するため、国の助成支援制度の導入活用の要望運動に努めてまいりましたが、過日、可能性調査事業として、国の**令和7年度エネルギー構造高度化・転換理解促進事業補助金5，694万円**の採択内示を得ました。

今年度は、同補助金の内示額に沿って、特に10項目の重点プロジェクトのうち、

①「災害対応拠点施設及び学校など公共施設への導入」の可能性

②「水産業の取組に関する活用」の可能性

③「温泉熱を利用した活用」の可能性

④「雪冷熱の活用」の可能性

の4項目について、今後の事業化に役立てる可能性調査を実施します。

町内観光施設の利用状況

「水中展望船」は4月25日、**「しゃこたん土産と喰処カムイ番屋」**は、4月24日からそれぞれ今年度の営業を開始しましたが、連休期間中や休日の天候不順により、利用客は各施設とも低調な推移となっています。

議会ニュース

自然環境保全協力金 昨年度３８３万円

積丹町自然環境保全協議会（会長：佐藤勝次観光協会長、構成：町及び町内産業経済団体６団体・２機関）への令和６年度協力金寄付金総額は、３８３万４，７９６円、平成19年から18年間の累計では３，７６５万４，０５３円です。

昨年度は、黄金岬誘導案内板設置や観光施設補修用資材購入費等に約１７５万円が活用され、今年度は、神威岬自然公園トイレ修繕や施設補修用資材購入等への活用が計画されています。

農林水産課関係

農業の概況

今春は、雪解けが平年よりも遅く、その後の気温も平年より低い傾向にあったことから、カボチャ、馬鈴薯、ミニトマトの植付け作業は若干遅れています。

４月10日開催の**新おたる農業協同組合通常総会**において、令和６年度事業報告及び令和７年度事業計画が承認されました。

令和７年度事業基本方針では、「組合員の高齢化や担い手・労働力不足・物価高など地域農業は依然として厳しい状況にあるが、農業所得増大対策や変化する地域農業の環境に対応し、今後も農協独自の農業振興支援と還元に取り組む。」としています。

道営治山事業

日司川緊急予防治山事業は、11月20日を工期に床固工が３月26日着工しました。

黄金岬地区役場裏地先緊急予防治山事業は、茶津トンネル入り口から２３０ｍ区間で、令和４～８年度５年計画で実施中でありますが、明年１月20日を工期に今年度の法枠工、伏工等工事が３月26日着工しました。

小泊地区陣内地先予防治山事業は、11月10日を工期に落石防止網工が５月28日着工しました。

分収造林事業の実施状況

婦美団地丸山地区更新伐施業は、10月31日を完了期限として３月３日に着手し、昨年11月に**石狩森林管理署**が婦美町（旧積丹牧場畜舎跡地）に整備した伐採木集積共同土場への運搬集積作業が行われます。また、同更新伐施業完了後の地拵施業は、11月30日を完了期限として５月16日着手しました。

漁業の概況

令和６年度の積丹町管内の水揚実績は、主要魚種のウニ、ブリなどの水揚が大きく減少したため、**水揚量は、前年度比１２４トン、５・５％減、水揚金額では同２億２７００万円、１５・０％減**という状況でした。

本年５月末現在の水揚量は、ホッケが大幅に減少しているものの、イカ、エビが低調ながらも前年に比べ増加し、１８０トン、１億２，１２３万円（前年同期比７３２万円、６・４％増）との報告を受けています。

３月27日、**東しゃこたん漁業協同組合臨時総代会**が開催され、令和６年度の基幹事業の販売取扱高が25億円の計画に対し、約27億円（２億円、８・０％増）の実績見込みとの報告がありました。

また、令和７年度事業計画では、前年度の実績を踏まえて、前年度と同額の25億円の販売取扱高を見込むとしています。

美国漁港整備事業

国の**美国漁港航路浚渫工事**は5月29日に、同一時堆積土砂搬出工事は、6月3日完了しました。

また、北海道開発局に対し同工事の令和8年度継続実施を要望しています。

資源増殖関係事業

サケ放流事業は、京極町の日本海さけ・ます増殖事業協会ふ化場で生産された稚魚200万尾を4月9日と4月18日の2日間に、美国漁港内に放流しました。

サクラマス放流事業は、5月23日に島牧村千走（ちはせ）産稚魚18万6千尾を美国川に9万3千尾、積丹川に9万3千尾を放流しました。

ニシン放流事業は、6月9日に羽幌町の道栽培漁業振興公社で生産された稚魚9万8千尾を美国漁港に4万9千尾、余別漁港（来岸地区）に4万9千尾を放流しました。

建設課関係

美国小学校裏防災避難階段施設の供用協議中

国との施設管理協定手続きについて小樽開発建設部と協議中でありますが、協議が整いしだい年度内を目途に供用開始する予定です。

小樽開発建設部から、追加工事の実施を検討中との連絡を受けています。

道道野塚婦美線道路維持対策

積丹大橋（野塚町）の塗装工事と日司トンネル内の照明改修工事が、来年3月末を工期に、7月上旬着工予定です。

建設工事等の発注状況

25件2億8，113万円

6月16日現在の建設工事の発注状況は、土木関係3件、建築関係10件の計13件、工事契約金額は2億1，184万円です。

うち、**現在施工中の工事**は、職員住宅解体工事他11件です。

委託業務は、土木関係6件、上下水道関係4件、地籍関係2件の計12件、委託契約金額は6，929万円です。

うち、**現在実施中の業務**は、野塚2号橋長寿命化修繕実施設計委託業務他11件です。

工事と委託業務を合わせた総契約件数は25件、総契約金額は2億8，113万円です。

今後、7月上旬を目途に、分収造林事業婦美団地六地区基幹作業道開設工事、町道維持補修工事の発注を予定しています。

令和７年度発注工事等状況一覧

（令和７年６月16日現在）

１．現在施工中の工事

①職員住宅解体工事
②観光トイレ解体工事
③高齢者福祉施設改修工事（建築工事）
④　〃　（機械設備工事）
⑤　〃　（電気設備工事）
⑥積丹町クリーンセンター改修工事
⑦美国団地長寿命化等改修工事
⑧　〃　（電気設備工事）
⑨積丹町内小中学校エアコン整備工事（機械設備工事）
⑩　〃　（電気設備工事）
⑪黒岡橋長寿命化修繕工事
⑫和田橋長寿命化修繕工事

２．現在実施中の業務

①積丹町地籍調査事業（繰越分）委託業務
②積丹町地籍調査事業委託業務
③積丹町内草刈委託業務
④野塚２号橋長寿命化修繕実施設計委託業務
⑤町道等照明LED化事業実施設計委託業務
⑥島武意海岸探勝路被災対策事業実施計画委託業務（補助小規模治山事業）
⑦積丹町橋梁点検調査委託業務
⑧積丹町トンネル点検調査委託業務
⑨簡易水道事業会計支援委託業務
⑩集落排水事業会計支援委託業務
⑪簡易水道事業会計システム保守委託事業
⑫集落排水事業会計システム保守委託事業

教育行政報告
（要約）

学校教育について

４月７日、美国小学校及び中学校で入学式が執り行われ、小学校８名、中学校10名の新１年生が入学し、２カ月が経過した現在は、新しい仲間も増え元気に学校生活を送っています。

また、美国中学校３年生の修学旅行が、東京方面を研修先として、５月13日から15日までの２泊３日の日程で実施され、３年生生徒は施設見学や職場訪問など、かけがえのない多くの貴重な体験を積みながら見聞を広めました。

入学後の大きな学校行事となる運動会と体育大会が５月24日の美国小学校を皮切りに、６月１日の余別小学校まで全ての学校で行われ、児童生徒は元気いっぱい各競技に参加し、これまでの練習の成果を十分に発揮していました。

保護者並びに地域の皆様には、事前準備や当日の運営へのご協力、競技への参加や温かい拍手など、運動会を大いに盛り上げていただいたことに感謝とお礼を申し上げます。

令和６年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果

令和６年４月から７月末までの期間に実施した本調査について、本年４月に北海道教育委員会が結果報告書を公表しました。

調査対象である小学５年生男女の当町における体力合計点は、全国平均を上回っている一方で、中学２年生男女の体力合計点は、全国を下回る結果となりました。

調査対象の実施人数が少ないため本町の全体像を表しているとは言えませんが、調査結果を踏まえ、ＩＣＴを活用した撮影画像の分析など、一人ひとりの課題発見につながる取組により、学習指導等の工夫・改善を行い、全ての児童生徒の体力・運動能力向上への取組を進めてまいります。

令和７年度全国学力・学習状況調査

４月17日、町内小学校対象学年のある２校の６年生11名と美国中学校の３年生12名を対象に、例年実施している国語、算数・数学及びオンラインによる学習意欲や学習方法などに関する児童生徒質問調査に加え、理科についても調査を実施したところです。

なお、調査結果につきましては、今夏以降に全国・全道の結果とともに公表される予定となっており、今後の各校における学習指導や生活指導の改善に役立てることとしております。

外国語指導助手（ＡＬＴ）の配置

町内小中学校での英語の授業及び国際理解教育等の充実を図るため、今年度も引き続きカディシャ・ブライアン氏（ジャマイカ出身）を外国語指導助手として配置しました。

美国中学校での全学年の英語の授業をはじめ、小学校の英語の授業や外国語活動を指導しているほか、運動会などの学校行事にも積極的に参加しております。

教育環境の整備・充実

国のＧＩＧＡスクール構想第２期による児童・生徒の一人一台端末の機器更新については、北海道発注の「共同調達方式」により、11月28日を納期として更新整備をします。

また、近年の記録的な猛暑による児童・生徒の熱中症防止対策として、恒久的な教育環境の改善に資するための小中学校エアコン整備工事は、６月２日着工し、明年３月25日までを工期に施工中です。

生涯学習について

社会教育事業における各種教室等

生きがいづくりや積極的な社会参加を促すことを目的としたリフレッシュ学級は、4月25日から「歌声サークル」が定期的な活動を開始したほか、5月20日には歌唱や楽器演奏、リズム体操など様々なプログラムを体験する「音楽療法体験教室」を開催し、12名が参加しました。

今後は、親子が共に学ぶ機会として、地域の自然を学習する自然体験活動などを行う体験教室の開催を予定しております。

生涯スポーツの振興

町民の自発的な健康づくりや体力づくりを進めるため、5月13日、町ふれあいゲートボール場において、第35回B&G杯争奪ゲートボール大会(2チーム、10名参加)、また、5月23日には、第36回町内ソフトバレーボール大会(2チーム、8名参加)を開催し、スポーツ活動を通じて参加者同士が交流を深め、和やかな雰囲気の中で熱戦が繰り広げられました。

今後も町民がスポーツや健康づくり、体力づくりに取り組める機会の提供に努めてまいります。

子ども第三の居場所運営事業

児童の放課後の居場所として利用されている同施設は、5月末現在、登録児童数27名で、教育活動サポーター9名により、安全安心な居場所の提供に努めているところです。

引き続き、活動を支える拠点マネージャーの人材確保に努めるとともに、B&G書道クラブ講師による創作活動や健康運動指導士による運動支援活動など、各種教室等と連動した事業を実施してまいります。

審議された案件

報告第1号　令和6年度積丹町一般会計予算繰越明許費繰越計算書について

令和6年度予算の執行を令和7年度に繰り越した原子力災害対策事業他3事業に係る繰越明許費を報告するもの。

(報　告)

議案第1号　固定資産評価審査委員会委員の選任について

任期満了に伴う積丹町固定資産評価審査委員会委員3名の選任について、議会の同意を求めるもの。

・坂野　武彦氏(美国町)
・藤原　良英氏(日司町)
・土屋トシ子氏(余別町)

(同　意)

議案第2号　積丹町半島振興対策実施地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の制定について

半島振興法に基づく、産業振興の促進に資する一定の事業用資産を取得した業種の設備に課する固定資産税の不均一課税特例条例を、令和7年4月1日施行の改正法により、令和9年3月31日まで2年間延長されたので、再度、町特例条例を制定するもの。

(原案可決)

議案第3号　積丹町選挙ポスター掲示場設置条例の制定について

積丹町議会議員及び積丹町長の選挙において、積丹町選挙管理委員会が公職選挙法等の規定に合致する投票所数へ変更を決定するため、町条例の全部を改正するもの。

(原案可決)

議案第４号
積丹町特別職の非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について

国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律の一部を改正する法律が令和７年６月４日施行されたことにより、町条例に規定する選挙長など８区分の報酬額を、同法に規定する相当額に増額するため、町条例の一部を改正するもの。

（原案可決）

議案第５号
積丹町議会議員及び積丹町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について

公職選挙法施行令の一部を改正する政令が令和７年６月４日施行され、選挙運動用ビラ並びに選挙運動用ポスターの作成に係る公費負担の限度額が引き上げられたことに伴い、その額に準じて、同限度額を増額するため、町条例の一部を改正するもの。

（原案可決）

議案第６号
積丹町学校給食センターの設置及び給食費条例の一部改正について

令和７年３月末の野塚小学校閉校に伴い、関係学校長等で構成する学校給食センター運営委員会委員の定数を変更するため、町条例の一部を改正するもの。

（原案可決）

議案第７号
辺地総合整備計画の策定について

「野塚辺地」の橋梁長寿命化対策事業に係る辺地総合整備計画を策定することについて、北海道知事との協議が整ったので、辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律により議会の議決を求めるもの。

（原案可決）

議案第８号
辺地総合整備計画の変更について

「婦美辺地」の橋梁長寿命化対策事業及び「来岸辺地」の集落排水施設改修事業の追加に係る辺地総合整備計画を変更することについて、北海道知事との協議が整ったので、辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律により議会の議決を求めるもの。

（原案可決）

議案第９号
令和７年度積丹町一般会計補正予算（第２号）

歳入歳出予算の総額に１億８，７４８万２千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ37億４，３８３万１千円にするもの。

行政報告の令和７年度追加事業予算のほか、①職員人事異動等に伴う人件費の過不足、②自治体情報システム標準化構築関連経費、③コミュニティ助成事業費、④住基ネットシステム機器の更新経費、⑤神威岬自然公園遊歩道等改修事業費などについて、補正予算措置を講ずるもの。住基ネットシステム機器更新事業費については、北海道市町村備荒資金組合防災資機材譲渡事業を活用するため、債務負担行為を設定するもの。

歳入の増額は、**商工費国庫補助金**（エネルギー構造高度化・転換理解促進事業補助金）５，６９４万円、**商工費道補助金**（自然公園等整備事業補助金）２，２５０万円、**基金繰入金**（北海道市町村備荒資金組合超過納付金繰入金）２，６００万円、繰越金（前年度繰越金）２，１５５万８千円、**雑入**（半島振興計画策定検証・調査事業補助金）２，２００万円、**町債**（過疎対策事業債）３，０４０万円など。

歳出の増額は、職員人件費５９４万７千円、**情報処理管理費**（自治体情報システム標準化構築関連業務委託料）２，６００万円、**水産振興費**（海業振興関連支援事業補助金）２，２００万円、**商工振興費**（再エネ設備等導入可能性調査事業関連費）５，９９４万円、**観光施設運営費**（神威岬自然公園遊歩道等改修事業関連費）５，３１０万円など。**減額**は、他会計繰出金34万２千円など。

（原案可決）

議案第10号
令和７年度積丹町国民健康保険事業特別会計補正予算（第１号）

歳入歳出予算の総額から34万２千円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ９，９４６万３千円にするもの。

直診勘定：歳入は、一般会計繰入金34万２千円を減額。歳出は、一般管理費（職員人件費）34万２千円を減額。

（原案可決）

意見案第１号
ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書

提出者・積丹町議会議員　海田　一時

（原案可決）

北後志消防組合積丹支署 ―消防ニュース―

林野火災対応訓練

全国各地の林野火災を教訓に積丹支署では、6月23日に野外スポーツ林スキー場（美国町）で林野火災想定訓練を実施しました。

傾斜がある場所では、ホースの長距離延長や送水が難しく、ホースの延長方法や送水圧力等を検証。また、発生時の他機関への連絡や、周辺住民への避難誘導、現場の指揮系統などを改めて確認しました。林野火災は、「たき火、ゴミ焼」、「火入れ」、「たばこ」などの人為的な原因が大多数で、自然現象は稀（まれ）です。

ゴミ焼の通報は、積丹支署へ多く寄せられており、廃棄物の処理及び清掃に関する法律で原則禁止されています。

家庭で出たゴミ、木を伐採した際の枝、枯草などは自宅の敷地内で焼却せず、町住民福祉課で示す「ごみ分別・出し方」を守ってください。

保育所職員の応急救護研修

6月26日に積丹支署2階で、びくに・みなと保育所の職員を対象に応急救護研修を行いました。

研修内容は、「心肺蘇生法とAEDの取り扱い」、「海の事故・熱中症についての講義」です。

心肺蘇生法では、胸骨圧迫の位置・深さ・リズム等をリアルタイムでモニタリングできる高度ダミーを使用することで、胸骨圧迫の精度向上を図りました。

積丹支署では、応急救護のほか、消火器取り扱い訓練や防災・救命講習の講師として職員の派遣ができるので、ご遠慮なくお問い合わせください。

■積丹支署各種出動状況　（単位：件）

	火災	救急	救助	その他
R７．６月	0	１３	0	7
R７年累計（１～６月）	1	６０	1	1
R６年	0	１２４	１３	２９

小樽海上保安部便り NO. 45

うに殻・魚のアラ・生活ごみなどの不要物を海に投棄すると犯罪です

◇ **船舶から不要物を海へ捨てると**
⇒海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律違反で１千万円以下の罰金が科せられます。

◇ **陸上から不要物を海へ捨てると**
⇒廃棄物の処理及び清掃に関する法律違反で
５年以下の懲役若しくは千万円以下の罰金が科せられます。

◇ **不要物を許可なく焼却すると**
⇒廃棄物の処理及び清掃に関する法律違反で
５年以下の懲役若しくは千万円以下の罰金が科せられます。

★海洋環境を保全するため、不要物は自治体のルールに従い適正に処分しましょう。
★豊かな海を育てるため、うに殻などは、再利用をお願いします。

JCG 小樽海上保安部
〒047-0007 北海道小樽市港町５番２号
0134-23-0481

積丹町では…

ウニ殻を活用して『海の森づくり』

＋

好事例として評価

令和３年度
・農林水産大臣賞
・水産庁長官賞

令和６年度
「第11回ディスカバー農山漁村（むら）の宝アワード」
（農林水産省／内閣官房）
・優秀賞／特別賞
同時受賞

さらに

コンブの森を活かし

ブルーカーボンの推進

『「積丹方式」循環型藻場造成』を全国に！

まちの日記帳

後志地域をサイクリングで楽しむ
「ニセコディスカバリーサイクリング」

6/14

UIC（世界自転車競技連盟）ロードレース「ニセコクラシック」が今年度は後志地域で行われ、後志地域を楽しむ観光イベントとして「ニセコディスカバリーサイクリング」が開かれました。

68名の参加者は、ニセコ東急グラン・ヒラフ（倶知安町）を出発し、神恵内方面から神威岬を経由し、ゴール地点である岬の湯しゃこたんまでの100㎞コースを颯爽と走行しました。

いつも美しい漁港に
美国漁港利用協議会「清掃活動」

6/22

美国漁港プレジャーボート利用者で構成する**美国漁港利用協議会（中村武会長）**が清掃活動を実施しました。

きれいな漁港で観光客を迎えるため、観光シーズンが本格化する前に毎年実施しています。当日は会員と町職員、約20名が１時間程かけて40リットルごみ袋約20個分のごみを収集。

中村会長は、「漁港をきれいに保つためにも漁港を利用する方一人一人がルールとマナーを守り、楽しく利用してほしいです。今後も、積極的に清掃活動を実施します。」と話していました。

プロ直伝のパントマイムで実演！
「中学校芸術鑑賞会 兼 町民文化講演会」

7/11

美国中学校体育館で開催された「中学校芸術鑑賞会兼町民文化講演会」に町内小中学生、保育所の子どもたち、一般町民の約１５０名の方々が参加しました。

今回は、元が～まるちょばのケッチさんを迎え、「パントマイム公演＋コミュニケーション教室」を実施し、普段目にすることができないパントマイム、手品、ジャグリングを楽しみました。

また、小中学生や学校の先生も舞台に上がり、ケッチさんからパントマイムを教わり、会場内は終始笑いや驚きが絶えない公演となりました。

information

おしらせ

年金の予約相談実施中

年金事務所では、年金についての予約相談を実施しています。

ご予約の際は、基礎年金番号のわかる年金手帳や年金証書などをご準備のうえ、お問い合わせください。

【問合わせ先】日本年金機構
TEL０５７０－０５－４８９０

無料法律相談所開設

次のとおり無料法律相談所を開設します。

◆日時　８月20日㈬
　午後１時～午後４時

◆定員　６人

【申込・問合わせ先】
余市町役場　総務課
TEL０１３５－２１－２１１２

※ご利用される方は、事前に申し込みが必要となります。

こころの健康相談

次のとおりこころの健康相談窓口を開設します。

◆日時　８月28日㈭
　午後１時30分～午後３時30分

◆場所　倶知安保健所余市支所

【問合わせ先】
倶知安保健所
健康推進課健康支援係
TEL０１３６－２３－１９５７

※ご利用される方は、25日㈪までに申し込みが必要です。

８月は「北方領土返還要求運動強化月間」です

我が国固有の領土である歯舞群島、色丹島、国後島及び択捉島からなる北方領土の早期返還の実現は、道民はもとより国民の長年にわたる悲願です。

北方領土問題の発端となった８月を「北方領土返還要求運動強化月間」と定め、道内各地で一層強力に北方領土返還要求運動を展開します。

一日も早い領土問題の解決に向け、ご協力をお願いします。

北後志消防組合新規採用職員募集（消防職員）

北後志消防組合では、令和８年４月採用の消防士・救急救命士を募集します。

◆受験資格
○積丹支署勤務
・平成13年４月２日から平成20年４月１日までに生まれた者
・学校教育法による高等学校、高等専門学校若しくは専修学校（就業２年以上の専門課程に限る）又は大学を卒業した者

◆申込締切　８月29日㈮
（送付先：北後志消防組合消防本部）

◆試験日時　９月21日㈰

◆試験内容
　適正検査、集団討論面接

※詳細は、北後志消防組合ホームページをご確認ください。

【問合わせ先】
北後志消防組合消防本部総務課
TEL０１３５－２３－３７５９

各種自衛官等を募集します

応募資格：18歳～33歳未満
※33歳の方は、小樽地域事務所に　ご連絡ください。

【一般曹候補生】

◆受付期間：第２回試験
７月１日㈫～９月２日㈫（必着）

◆試験日程等
・９月13日㈯～21日㈰いずれか１日

【自衛官候補生】

◆受付期間：第１回試験
７月１日㈫～８月19日㈫（必着）

◆試験日程等
・８月28日㈭～31日㈰いずれか１日

応募資格：海・18歳～23歳未満
空・18歳～24歳未満

【航空学生】

◆受付期間：第１回試験
７月１日㈫～８月29日㈮（必着）

◆試験日程等
・９月20日㈯・27日㈯いずれか１日

応募資格：18歳～21歳未満

【防衛大学校学生】

◆受付期間：第１回試験
７月１日㈫～10月16日㈭（必着）

◆試験日程等
・11月19日㈬

【防衛医科大学校医科学生】

◆受付期間：第１回試験
７月１日㈫～10月８日㈬（必着）

◆試験日程等
・10月25日㈯

【防医大看護学科学生】

◆受付期間：第１回試験
７月１日㈫～10月３日㈮（必着）

◆試験日程等
・11月13日㈭

※試験日等も急に変更になる場合がありますのであらかじめご了承ください。

その他各種応募資格、受験手続き等詳しい内容は、お問合わせください。

【問合わせ先】
自衛隊札幌地方協力本部
小樽地域事務所
TEL０１３４－２２－５５２１

わが家のめんこちゃん

荒谷（あらや）　伊織（いおり）　ちゃん
（８月９日生・来岸町）

お散歩が大好き！
雨の日は、窓から外を眺めています。
抱っこされるとご機嫌になります！

優しくて、いつもニコニコした子に育ってほしいです。
（司さん・由衣さん）

総合文化センター3階・『図書コーナー』に新刊図書が入りました！

小　説

●カフネ　●アルプス席の母　●小説　●禁忌の子　●人魚が逃げた　●spring
●恋とか愛とかやさしさなら　●生殖記　●死んだ山田と教室　●ないもの、あります
●フォース・ウィング―第四騎竜団の戦姫〈上・下〉　●創元推理文庫　白薔薇殺人事件
●エクス・リブリス　別れを告げない　●ここはすべての夜明けまえ
●本を読んだことがない32歳がはじめて本を読む―走れメロス・一房の葡萄・杜子春・本棚
●ショートケーキは背中から　●さくらのまち　●バリ山行　●サンショウウオの四十九日
●ＤＴＯＰＩＡ　●ゲーテはすべてを言った　●ツミデミック　●藍を継ぐ海
●口訳　古事記　●号外！幕末かわら版　●大江戸綺譚―時代小説傑作選　●架空犯
●猫の刻参り―三島屋変調百物語拾之続

社　会・趣　味

●歴史文化ライブラリー　名言・失言の近現代史〈上〉１８６８―１９４５
●歴史文化ライブラリー　名言・失言の近現代史〈下〉１９４６―
●私たちは何を捨てているのか―食品ロス、コロナ、気候変動
●なぜ働いていると本が読めなくなるのか　●発言禁止　誰も書かなかったメディアの闇
●気負わず作れて満たされる　よりそいごはん

児童書・絵　本

●クジラがしんだら　●トドにおとどけ　●わすれていいから　●うちのピーマン
●もののけしょくどう　うらめしや　●パンどろぼうとりんごかめん
●火の鳥　いのちの物語　●ライオンのくにのネズミ　●おしごとそうだんセンター
●わかったさんのスイートポテト　●こどものとも絵本　おせち
●ネコになりたかったクモのルイージ　●どんどんめくり
●たくさんのふしぎ傑作集　世界の納豆をめぐる探検　●幼児絵本シリーズ　せっせせっせ

本のリクエストもお待ちしています！

図書コーナーに設置している「図書リクエストカード」へ読みたい本を記入し、ポストへ入れてください。

〈問合わせ先〉積丹町教育委員会　生涯学習課（Ｂ＆Ｇ海洋センター）　TEL０１３５―４４―３２６０

戸籍の記載事項に振り仮名（フリガナ）が追加されます!!

令和７年５月２６日に改正戸籍法が施行され、戸籍の記載事項に氏名の振り仮名が追加されることになりました。この日以降、本籍地の市区町村長から、戸籍に記載される予定の振り仮名が通知されます。

通知の振り仮名が正しいときは、届出をしなくても通知のとおり戸籍に記載されます。振り仮名が誤っている場合は令和８年５月２５日までに届出をしてください。なお、振り仮名の届出に手数料は一切かかりません。また、届出をしなかったとしても、罰則や罰金はありません。

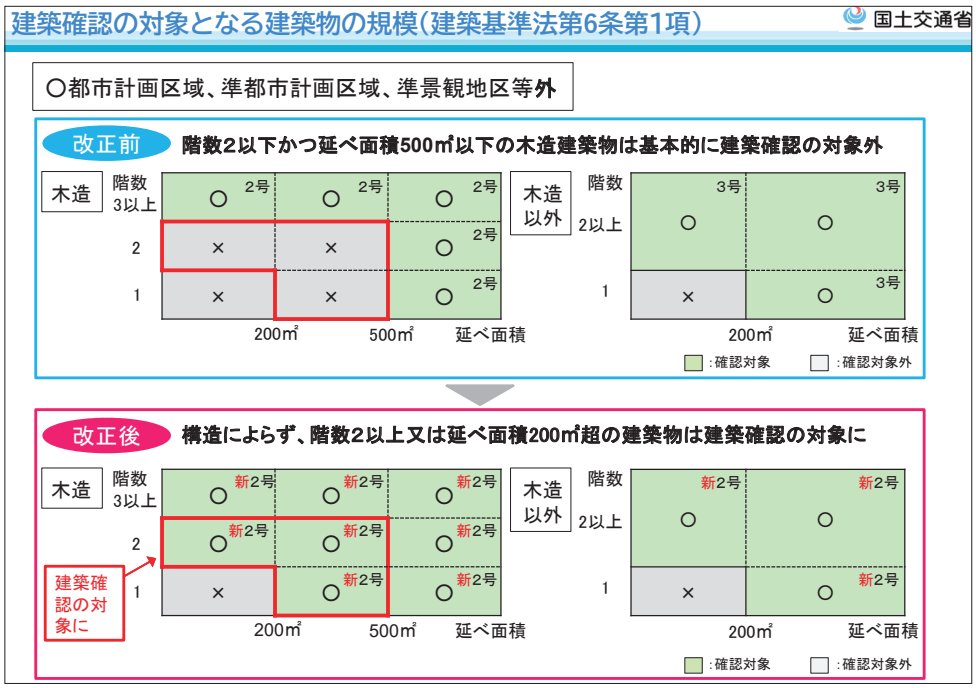
制度の詳細については、法務省ホームページをご参照ください。

◎法務省ホームページ URL
https://www.moj.go.jp/MINJI/furigana/index.html

「建築基準法」が改正（令和７年４月１日施行）されています！

令和４年６月に公布された「脱炭素社会の実現に資するための建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律等の一部を改正する法律」により、**建築確認手続きの対象の見直し**が行われました。

建築基準法では、原則全ての建築物を対象に、工事着手前の建築確認や、工事完了後の完了検査などが必要ですが、都市計画区域外においては、一定規模以下の建築物は、建築確認・完了検査の対象となっていませんでした。



しかし、令和７年４月１日施行の改正建築基準法により、**２階建て以上又は延べ面積２００㎡超の建築物**は、都市計画区域外であっても、**建築確認・完了検査の対象**となりました。

また、**２階建ての木造戸建等で行われる大規模なリフォームなども、事前に建築確認手続きが必要**となる場合があります。

これから、住宅の新築や大規模なリフォームを行う場合は、**事前に建築確認が必要**となりますので、ご注意ください。

今月の納期

●国民健康保険税　第2期
　納期限 8月 25 日(月)
●介護保険料　第2期
　納期限 8月 25 日(月)
●後期高齢者医療保険料　第2期
　納期限 8月 25 日(月)
●町道民税　第2期
　納期限 9月1日(月)
●上下水道使用料金　7月分
　納期限 8月 29 日(金)
●住宅使用料　8月分
　納期限 9月1日(月)

（注）口座振替をご利用の方は、**8月 25 日**(月)に引き落しになりますので、前日までに残高の確認をお願いします。

また、失業、転職、病気などの理由により納期内納付が困難な方は、放置せず相談してください。

そのまま放置すると、督促状が送付され、その後も納付・相談がなければ、滞納処分（預金、給与、不動産等の差押）となります。

そのような事態になる前に、早めにご相談ください。

【問合わせ先】役場税務課　TEL44-3384

8月 30 日（土）まで 総合文化センターを開放しています！

町では、町民の皆さんの熱中症による健康被害の発生を防止するため、総合文化センターの一部を開放しています。

期　間：8月 30 日（土）まで
場　所：積丹町総合文化センター１階ロビー
時　間：午前８時 30 分～午後５時まで

【問合わせ先】役場企画課　TEL 44-2114

◆ し尿収集の日程・８月 ◆

日（曜日）	地　区	日（曜日）	地　区
12 日(火)	神岬・草内	21 日(木)	野塚
13 日(水)	余別	25 日(月)	〃
14 日(木)	〃	26 日(火)	日司
18 日(月)	余別・来岸	27 日(水)	日司・入舸
20 日(水)	来岸・西河		

8月のこよみ

5(火)	●B＆Gジュニア水泳教室
6(水)	●体験教室「B＆G自然体験プログラム」 ●子育て支援センター「七夕まつり」
7(木)	●びくに保育所「七夕まつり」 ●みなと保育所「七夕まつり」
10(日)	●第2回北海道学力コンクール （B＆G海洋センター ミーティングルーム）
11(月)	
29(金)	●粗大ごみ収集日 ※燃やせないごみの収集日ではありません

文芸だより

－8月の俳句－

（美国踏青俳句会）

半日を遊びし岬土用あい　藤原　わ子
火祭を見むと早朝の親娘かな　戸来　和子
積丹の「うに丼」求め客並ぶ　河岸　悟郎
紫陽花やひと雨ごとに色ませり　菊谷　知子
畑の師の弟逝きし半夏生　山﨑美枝子
夏に入る舟の名で呼ぶ漁師かな　福井　新一
火をくぐる一本あしだや本祭り　板垣千恵子

善意に感謝します

社会福祉法人　積丹町社会福祉協議会

佐々木　毅　一　様（美国町）　５０，０００円

交通安全はみんなの願い

死亡交通事故 0（ゼロ）の日

2,216日達成

（令和7年7月1日現在）

ふるさと納税の状況

全国の皆さま
ご協力ありがとうございました

≪令和7年6月30日現在≫

758件　11,154,000円

8月の余市管内休日当番病院等

診療時間：午前9時～午後5時

日（曜日）	医療機関名	住所	電話番号
3日（日）	脳神経外科よいち汐風クリニック	余市町大川町	21-5566
10日（日）	わたなべ内科医院	余市町大川町	22-3989
11日（月）	北郷耳鼻咽喉科医院	余市町大川町	23-5533
15日（金）	田中内科医院	余市町浜中町	22-6125
17日（日）	中島内科	余市町黒川町	22-3866
24日（日）	勤医協余市診療所	余市町黒川町	22-2861
31日（日）	勝田内科皮フ科クリニック	余市町大川町	22-3843

※受診される方は、あらかじめ病院等に電話確認をお願いします。

積丹町スマートフォンアプリ「しゃこたん地域情報」

IP告知端末と同じ配信情報がスマートフォンから「いつでも」「どこでも」確認できます。

こちらからダウンロード←

広報しゃこたんのアプリ配信を始めました！

スマートフォンアプリ「マチイロ」では、広報しゃこたんのカラー版を読むことができます。

こちらからダウンロード←

積丹町公式LINEアカウントできました！

メニューの『AIチャットボット』からの問い合わせで、閉庁日や勤務時間外も回答しています。

こちらからぜひ友達登録←

人のうごき

世帯数／	965世帯	（－3）
人口／	1,649人	（－10）
男／	779人	（±0）
女／	870人	（－10）

●転入／4人（＋2）●転出／8人（＋1）
●出生／0人（±0）●死亡／6人（＋3）

令和7年6月30日現在、（ ）内は前月比

慶弔録

おくやみ（死亡）

津村　テイ	山口　てつ	佐々木恵子	田村　マサ
94歳	89歳	87歳	88歳
美国町	美国町	美国町	美国町

■発行・編集／積丹町企画課 ■印刷／岩橋印刷㈱
〒046-0292 北海道積丹郡積丹町大字美国町字船澗48番地5
☎ 0135-44-2114／FAX 0135-44-2125
ホームページアドレス http://www.town.shakotan.lg.jp
E-mail kikaku@town.shakotan.lg.jp